

省エネ基準工事監理報告書(仕様基準)

建築主 様

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書及び添付図書の記載の事項は、事実に相違ありません。

工事監理者

物件概要

建 築 主	
工 事 名 称	
敷 地 の 地 名 地 番	

報告内容(以下の項目について申請図書の通り施工されたことを報告します。)

項目	報告事項	照合を行った 設計図書	確認方法	確認結果
1.外皮	① 断熱材の仕様、設置状況		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
	② 構造熱橋部の断熱補強の仕様、範囲 (鉄筋コンクリートの場合)		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
	③ 窓の仕様、設置状況 (付属部材や庇の設置状況を含む)		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
2.暖房設備	① 暖房方式		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
	② 暖房設備の仕様、設置状況		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
3.冷房設備	① 冷房方式		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
	② 冷房設備の仕様、設置状況		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
4.換気設備	① 換気設備の仕様、設置状況		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
5.照明設備	① 非居室の照明設備の仕様、設置状況		A・B・C ()	適・不適 ・対象外
6.給湯設備	① 給湯設備の仕様、設置状況		A・B・C ()	適・不適 ・対象外

[注意]

- 1 本様式は、「住宅仕様基準」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した住宅に係る工事監理を対象としています。
- 2 計算対象となる設備等が無い場合は、「確認結果」の欄の「対象外」を○で囲んでください。
- 3 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。
- 4 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。
A：目視による立会確認 B：計測等による立会確認 C：施工計画書等・試験成績書等による確認